

ふれあい通信

涼風号



特集

「性教育は人権教育につながる」

ふれあいじんけんフォーラム（塩谷南那須地区人権教育指導者一般研修）

平成30年6月19日（火） 那珂川町小川総合福祉センター



子どもを取り巻く性情報への
具体的な対策を学ぶ

今年度のふれあいじんけんフォーラムは、人権作文コンクール最優秀賞受賞作品の発表や人権啓発DVD視聴後、星槎大学大学院客員教授でジャーナリストでもある渡辺真由子先生から『性教育と人権』子どもを取り巻く性情報と対策』というテーマで講話をいただきました。

子どもの性的メディア利用の現状やメディアが子どもの性意識に与える影響、メディアに搾取される子どもたちの性などをわかりやすく解説していただき、それらの対策として「性情報リテラシー」というキーワードを御提示くださいました。性に関することは、オブラートに包んでしまうこともありますが、渡辺先生は私たちの心に響くストレートな表現でお話をしてくださいました。



自分を大切に、相手も大切にすると性教育にも人権教育にも共通するものです。

講話最後の「性教育は人権教育につながる」という渡辺先生の言葉に、多くの方々が納得されていました。

ことば
性教育
リテラシー
メディアが発信する「性に関する情報」を批判的に読み解く力のこと。

参加者の声

- 作文の発表は、生の声でとても感動的なものでした。
- 今後、子どもと性の話をしていくためのよい機会となりました。
- ここまで突っ込んだ内容の研修は少ないです。とても貴重な時間でした。こういった機会をもっと設けるべきだと感じました。

平野早矢香さん、馬頭中学校へ！

～ とちぎ未来大使「夢」講座 ～

去る6月18日、馬頭中学校を会場に、ロンドンオリンピック卓球女子団体銀メダリストの平野早矢香さんをお招きし、「夢」講座が開催されました。

「夢」講座は、多方面で活躍されている栃木県とゆかりのある方を「とちぎ未来大使」として招き、中学生が自分の夢や将来について考える機会とすることを目的としています。

日々お忙しい平野さんですが、疲れた様子も見せず笑顔で来校されました。



全校生徒や保護者など250名が参加する中、平野さんは「昨日の自分と今日の自分を比べ、『昨日の自分より一歩前へ』前進することが大切なこと」と話されました。

また、卓球をとおした様々な経験から、「夢をもつこと、夢に近づくための目標をもつこと、目標を達成するための課題を明確にすること、このバランスが大切」と話されました。

平野さん御自身の経験を交えての話は、納得させられるのはもちろん、聞く子どもたちにとくさんの夢を与えてくださいました。

Column

コミュニティスクールとは？

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

学校運営協議会の主な役割として、

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

の三つがあります。

（委員）保護者代表・地域住民、
地域学校協働活動推進委員など

出典『コミュニティスクール2017～地域とともにある学校づくりを目指して～』文部科学省

